



飼養環境に関する事項

32 衛生管理区域内の整理整頓及び消毒

衛生管理区域内にネズミなどが侵入して、区域内を動き回る事は、



病原体を拡散するリスクになるんだ。だから区域内は、ネズミなどの野生動物が隠れにくく、病原体が残存しないようにするため、まずは不要な資材等の処分、除草及び資材や機材の整理整頓をして、敷地を定期的に消毒する必要があるんだ。

除草や整理整頓は、



身を隠せる場所が無くなってネズミなどの小動物が侵入しにくくなるだけではなく、効果的な消毒ができるようになるんだね。



32 33

33 畜舎等施設の清掃及び消毒

畜舎などの掃除は飼養衛生管理基準で何か決められているんですか？



畜舎や衛生管理区域内にある



施設の掃除については、飼養衛生管理基準の3で規定されたマニュアルに基づいて定期的に清掃及び消毒する必要があるんだ。消毒効果を最大限に発揮させるために、誰がやっても同じ効果が出せるよう、マニュアルで管理をするんだ。

えさの食べこぼしを清掃することは



野生動物を引き寄せてしまう要因を少なくすることにも繋がるなど、清掃の意味って大きいですよ。



石灰塗布後の豚房

石灰塗布



洗浄消毒後の豚房

衛生管理区域内の整理整頓及び消毒・畜舎等施設の清掃及び消毒

※おが粉豚舎では、空房となったタイミングで適切な発酵を行い、発酵床の温度を上げることで消毒の実施とみなすことが可能です

家畜に関する事項

34

毎日の健康観察

34 毎日の健康観察

毎日の健康観察が重要なことは分かるんだけど、具体的にどういった内容を観察すればいいんですか？



まず、畜舎内に異状がないか確認しよう。健康観察では全ての家畜の健康状態がいつもと変わらないかどうかを確認し、豚房ごとの離乳日のロット記録、調子の悪い豚のいる場所や頭数、症状などを記録するように。もし、異状な行動や症状を示したら、程度に応じて管理獣医師への連絡や相談、家保への通報も必要だよ。

毎日の健康観察でチェックする事項

- ・豚房ごとの離乳日
- ・調子の悪い豚がいる場所や頭数、症状
- ・死亡豚の有無と状況
- ・出生記録（分娩舎の母豚カード）

毎日の健康観察でチェックする事項をまとめたカード作成例

肉豚管理表(様式例)

豚舎No: 1-1

農場名: まもるファーム

日付	頭数	死亡とう汰	理由	ワクチンなど	飼料	治療歴	備考
8/11	♀6 ♂5			〇〇 ワクチン	人工乳前期		8/11離乳
8/12					↓	2頭〇〇:注射	2頭セキあり
8/13	♀5 ♂5	1	肺炎		↓		

母豚カード(様式例)

母豚No. _____ 生年月日: 年 月 日 導入日: 年 月 日

産歴	1産	2産	3産	4産	5産	6産
種付日						
分娩予定日						
分娩日						
総産子数						
正常産子数						
死産頭数(白/黒)						
⋮						

【番外編】オールイン・オールアウト(AI/AO)を目指したグループ生産システムについて

	ウィークリー	ツー・テン	スリー・セブン	フォー・ファイブ
交配、分娩、 離乳実施頻度	毎週	2週間隔	3週間隔	4週間隔
グループ数	20~21	10	7	5
グループごとの 子豚日齢差	最小 1~2日	最小 1週間 程度	最小 2週間 程度	最小 3週間 程度

グループ生産システム(例)

そういう時は、
オールイン・オールアウト(AI/AO)
のグループ生産システムがお勧め。
家保の先生や農場の管理獣医師さんと相談
して、農場に合ったシステムを見つけよう。



連続飼育になってしまつて、
畜舎や豚房の洗浄・消毒・乾燥の徹底が
できないとき解決方法はないんですか？

メリット

- ・小規模農場でもロットごとの頭数を確保できるように
- ・AI/AOが実施しやすい
- ・伝染性疾病発生時に対策しやすい
- ・伝染性疾病の制御による生産成績向上
- ・作業時期にメリハリが生まれ、従業員が休みを取りやすい
- ・グループごとの管理記録を取りやすい

デメリット

- ・作業が特定の期間に集中し、従業員の負担増加や、資材の確保が難しくなる場合がある
- ・システムによっては、再発情母豚の種付けが実施しにくい
- ・システムによっては、出荷頭数に波が出る場合がある

